



1

2023年度 春季実施研修		
国際部主催 <ul style="list-style-type: none">・ 昌原大学研修・ フィリピン大学研修・ ナイロビ大学研修・ ブルゴーニュ大学研修・ グアナフアト大学研修・ シエナ外国人大学研修・ 南イリノイ大学・ FPT大学研修・ オーストラリアインターンシップ・ ロサンゼルス・インターンシップ・ ベトナムインターンシップ・ カンボジアボランティア	WLC主催 <ul style="list-style-type: none">・ ヒマラヤGフィリピン研修(イースト大学1期)・ インターナショナル・フィールドワーク・ イースト大学研修2期・ イースト大学研修3期 学士過程教育機構主催 <ul style="list-style-type: none">・ GCPフィリピン研修(キャピトル大学) 経済学部主催 <ul style="list-style-type: none">・ ハワイ大学研修 経営学部主催 <ul style="list-style-type: none">・ GPUK (レディング大学)	国際教養学部主催 <ul style="list-style-type: none">・ 国際看護研修(フィリピン)※N数不足・ 国際看護研修(ドイツ)

2

■ 測定する「17の尺度」および「7領域」

i. 妥当性 (Validity Scales)

- Consistency (一貫性): 類似又は同一の内容を測っているが表現の異なる質問項目に対する、回答の一貫性
- Congruency (適合性): 統計的に推定できる回答パターンとの、回答の一致の程度

ii. 形成的因子 (Formative Variables)

- Negative Life Events (人生における負の出来事): 困難な子ども時代、問題を抱えていた両親、人生における葛藤/苦闘、多くの後悔

iii. 中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)

- Needs Closure (欲求の抑圧): 不幸な生い立ち/生活史、いさかいの多い不安定な家族構造、物事が起こる原因・状態の原因についてのステレオタイプの思考/筋が通らない説明
- Needs Fulfillment (欲求の達成) 【高】: 経験・欲求・感情に対してオープン、自分・他者・より広い世界に対する気遣い/思いやり
- Identity Diffusion (アイデンティティへの否定的な度合い): アイデンティティの危機、結婚生活/家族生活についての否定的宿命論、自分や将来に対する「否定的な」感情

iv. 不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)

- Basic Openness (基本的な開放性) 【高】: 基本的な思考、感情、欲求に対してオープンかつ率直
- Self Certitude (自分に対する確信) 【低】: 強い意志、困難に対し言い訳することが我慢できない、ポジティブ思考を強調する、深い分析を好まない

v. 批判的思考 (Critical Thinking)

- Basic Determinism (決定論・必然論的傾向) 【低】: 差異/行動について簡潔な説明を好む、人は変わらない強者が生き残ると信じている、苦勞の多い生活史
- Socioemotional Convergence (社会・情動的理解): 自己、他者、より広い世界を認識している/オープンである、思慮深く、実用主義、意思が固い、自立の必要性を認める一方で弱者を気遣うなど世界を白黒では捉えない

vi. 自己の理解・アクセス (Self Access)

- Physical Resonance (身体への共鳴): 身体的欲求/感情の受容、経験主義、人間性/進化の影響を評価する (例: 「私は自由な精神の持ち主だ」、「私の体は私の感情に敏感だ」など)
- Emotional Attunement (感情の調整) 【高】: 感情に動かされやすい、傷つきやすい、社会的、愛情を求めている、親和的、愛情表現に価値を置く、家族関係が親密
- Self Awareness (自己認識) 【高】: 内省的、自己の複雑性を受け入れる、人の経験/状態を気遣う、難しい思考/感情を許容する
- Meaning Quest (意味の探求): 物事の意味を模索する、人生にバランスを求める、耐性がある/根気強い、感受性が高い、弱者への思いやり

vii. 他者の理解・アクセス (Other Access)

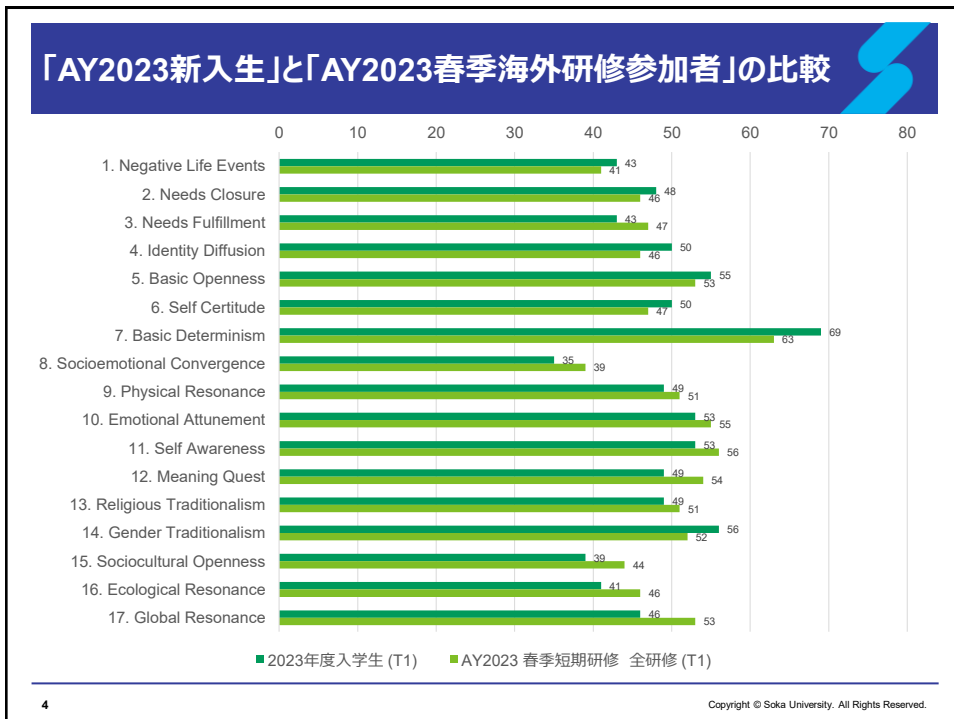
- Religious Traditionalism (宗教的伝統主義、信仰心) 【低】: 宗教心があつて、自己/行動/出来事を神/霊的な力によるものとする、「来世」を信じる
- Gender traditionalism (ジェンダー的伝統主義) 【低】: 男性と女性はある型にはまるよう創られている、伝統的/単純なジェンダー観やジェンダーの役割を好む
- Sociocultural Openness (社会文化的オープン性) 【高】: 文化、経済、教育、環境、ジェンダー/国際関係、政治の分野におけるさまざまな行動、政策及び実践について進歩的オープンである

viii. 世界の理解 (Global Access)

- Ecological Resonance (生態との共鳴) 【高】: 環境/持続可能性の問題に深く関与している。地球/自然界の将来を懸念している
- Global Resonance (世界との共鳴) 【高】: さまざまな個人、集団、言語、文化について学ぶこと/出会うことを努力している。グローバル社会への関与を望んでいる

【高】・【低】と表示した尺度はフィスカルスコア (BEVIが測定しようとする「中心的な本質」の全体スコア)算出の際の重み付けに利用
BEVI自体はスコアの高低について価値判断をしない (例えば宗教)。ただし、大学また教員は価値判断を行う (EX: 14のスコアが高い人はジェンダーの考えが保守的)

3



4



5

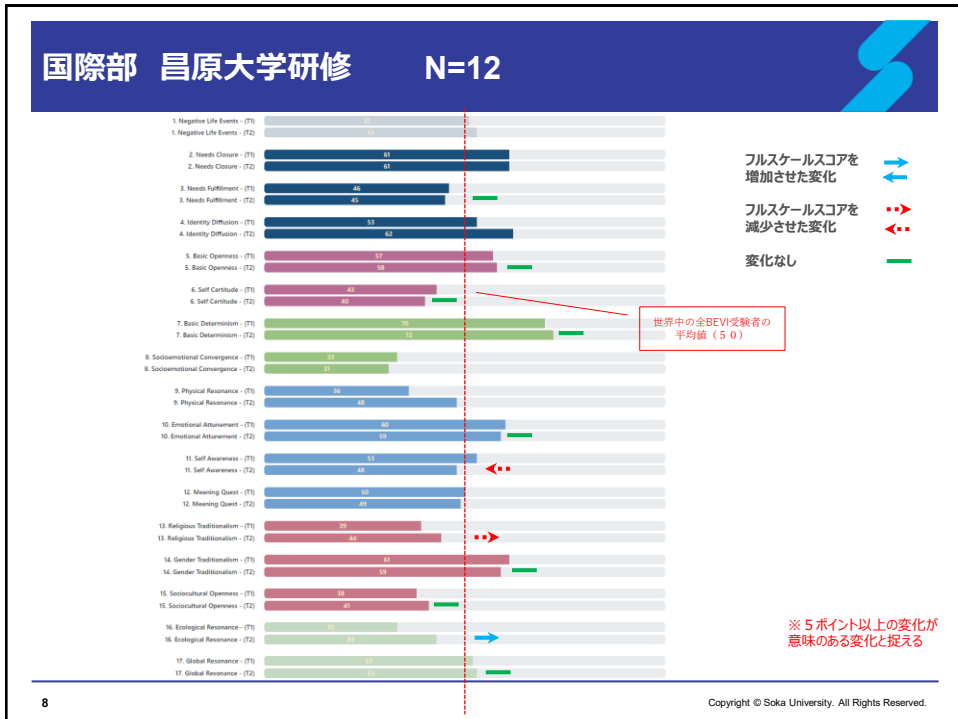


6

【国際部 昌原大学研修】 のBEVIによる分析

期間: 2024年1月28日～2月17日
参加者: 13名
研修目的: 語学・文化研修
研修内容: 様々な文化体験を通し、語学習得だけでなく、韓国の歴史や文化なども学べる3週間の研修。

7

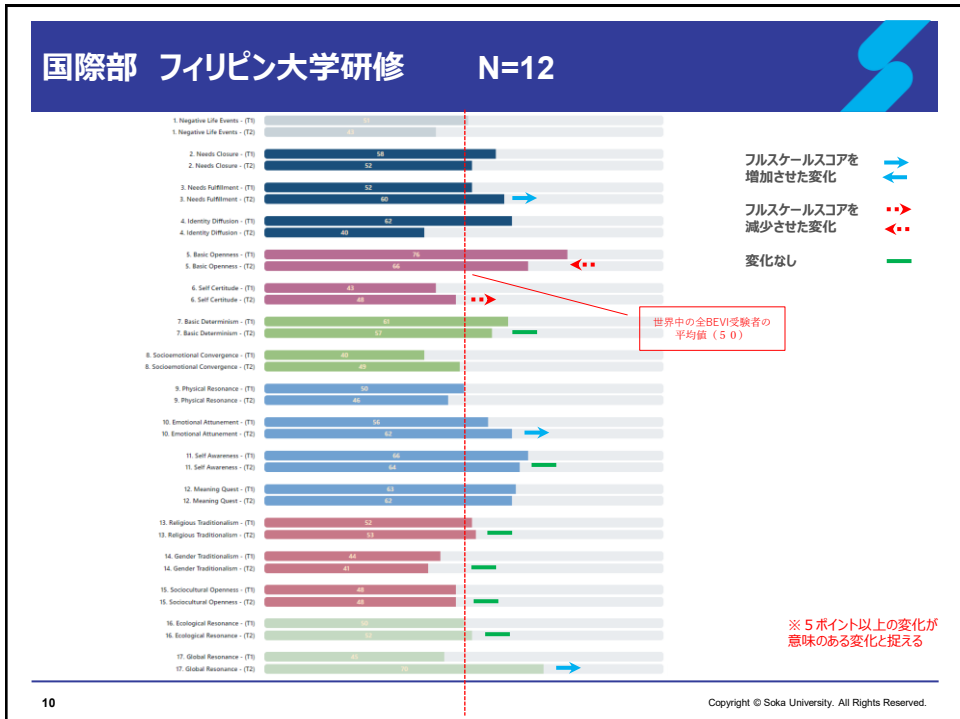


8

【国際部 フィリピン大学研修】 のBEVIによる分析

期間: 2024年2月4日～2月17日
参加者: 15名
研修目的: 語学・文化研修
研修内容: 英語とフィリピン文化の授業を中心に、アジア開発銀行やパラランパンタオのフリースクール訪問等のフィールドワーク。現地学生との交流やツアーも充実。フィリピンが抱える社会問題や文化を学べるプログラム。

9

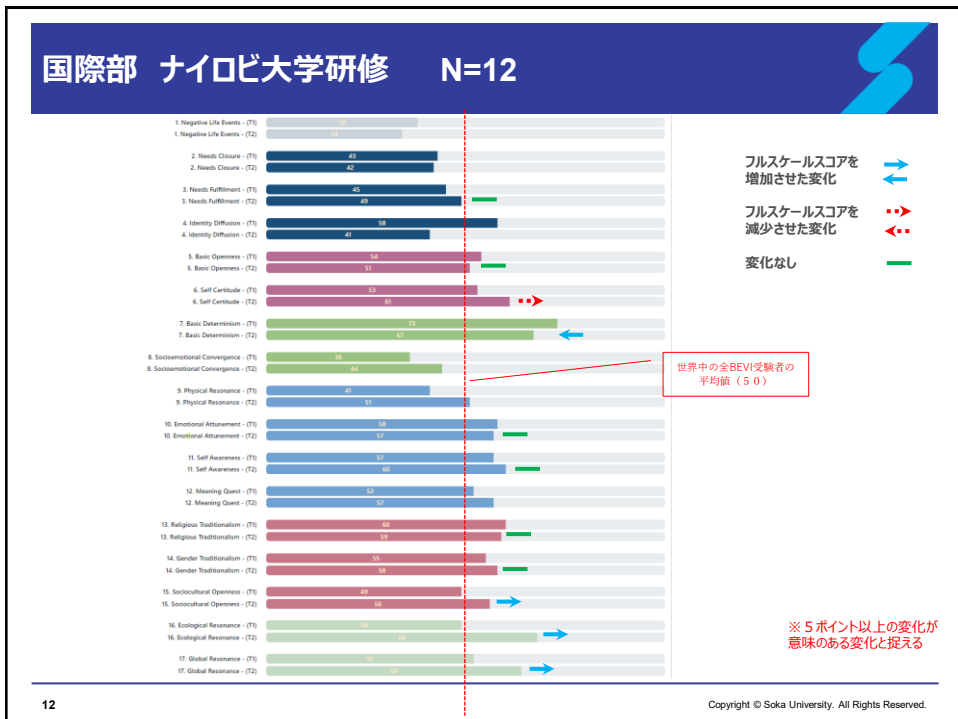


10

【国際部 ナイロビ大学研修】 のBEVIによる分析

期間: 2024年2月7日～2月24日
参加者: 15名
研修目的: 語学・文化研修
研修内容: スワヒリ語会話とアフリカ事情(英語)の講義やフィールドワーク中心のアクティビティ等。下がり体験、現地フリースクールでの子供たちとの交流、国際機関訪問等。

11

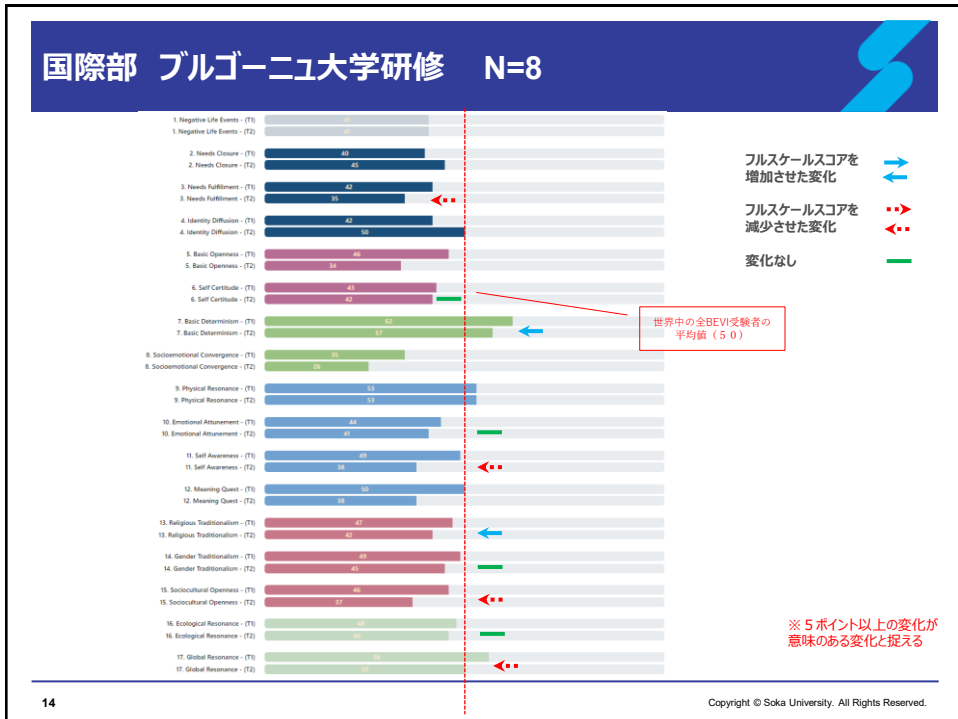


12

【国際部 ブルゴーニュ大学研修】 のBEVIによる分析

期間: 2024年2月3日～2月26日
参加者: 8名
研修目的: 語学・文化研修
研修内容: 日仏文化協会が企画する研修で、フランス語を学べるプログラム。

13

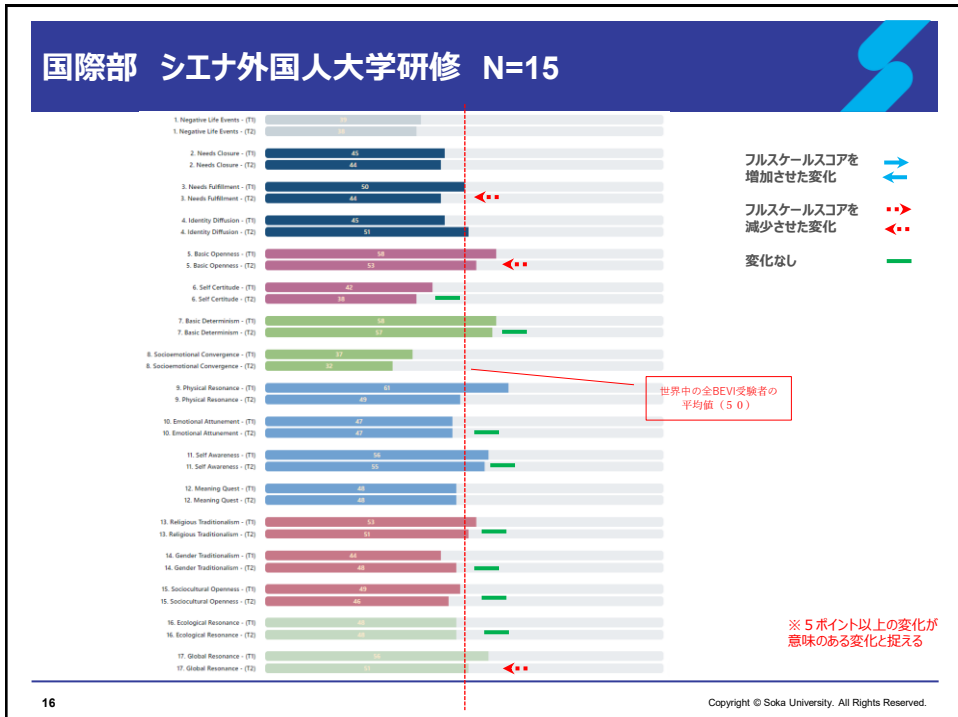


14

【国際部 シエナ外国人大学研修】 のBEVIによる分析

期間: 2024年2月3日～3月2日
参加者: 17名
研修目的: 語学・文化研修
研修内容: EUから集まった各国の留学生とともに1か月にわたりイタリアの文化に触れつつ、イタリア語を学ぶ。

15

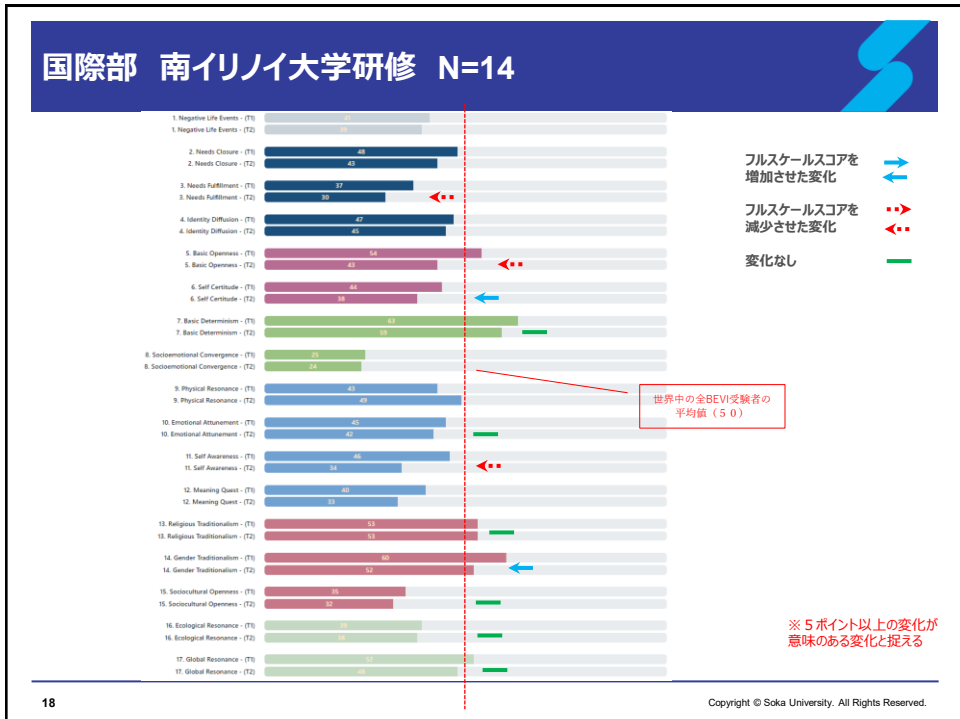


16

【国際部 南イリノイ大学研修】 のBEVIによる分析

期間: 2024年2月15日～3月10日
参加者: 20名
研修目的: 語学・文化研修
研修内容: 週10コマの授業と週10時間のコミュニティ
 アクティビティを通して、教室で集中的な英語力の向上
 と、実生活での応用力を身につける。

17

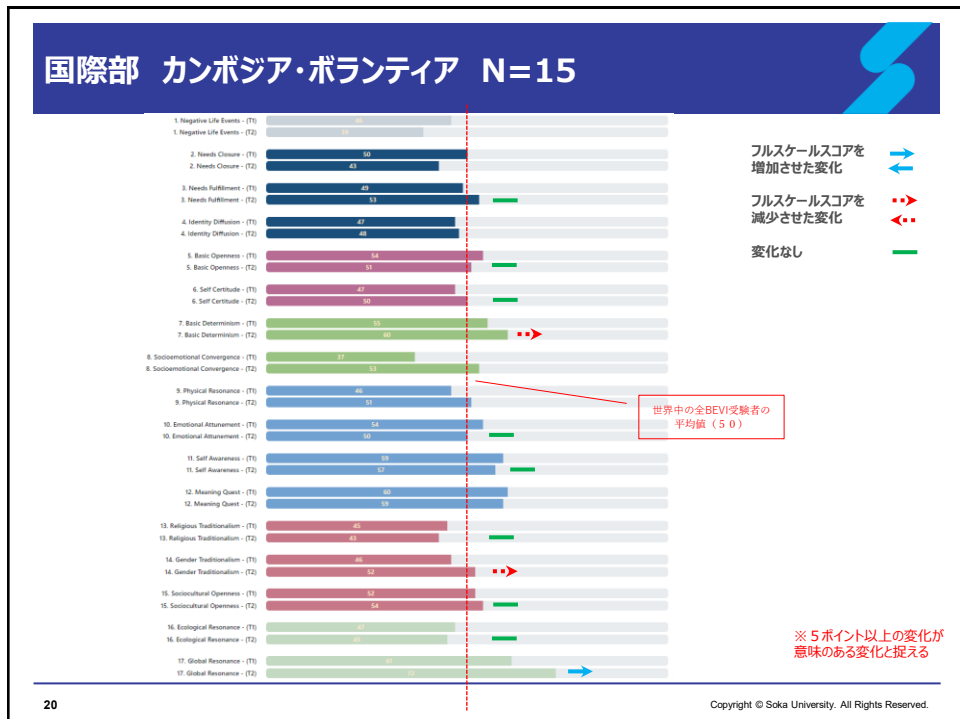


18

【国際部 カンボジア・ボランティア】 のBEVIによる分析

期間: 2024年2月18日～3月3日
参加者: 15名
研修目的: ボランティア
研修内容: ①ノンフォーマル教育(英語・スポーツ・音楽等を公立学校などの生徒たちに教える)、②村人たちと一緒に野菜農園づくり、農作業を行う、③村人たちと衛生や生活環境を良くするための活動を行う。

19

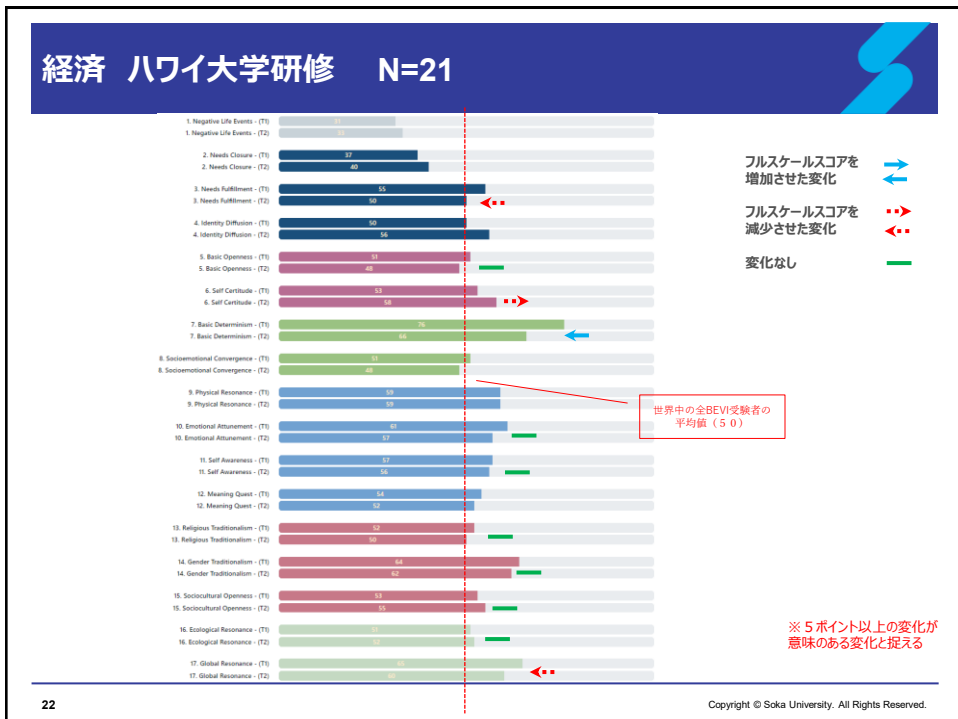


20

【経済 ハワイ大学研修】 のBEVIによる分析

期間: 2024年2月4日～2月15日
参加者: 21名
研修目的: 経済学研修
研修内容: テーマ「Sustainable Development Goals and Hawaii」のもと、英語力および経済学の専門知識の向上を目指した研修。

21



22

【WLC イースト大学研修1期～3期】 のBEVIによる分析

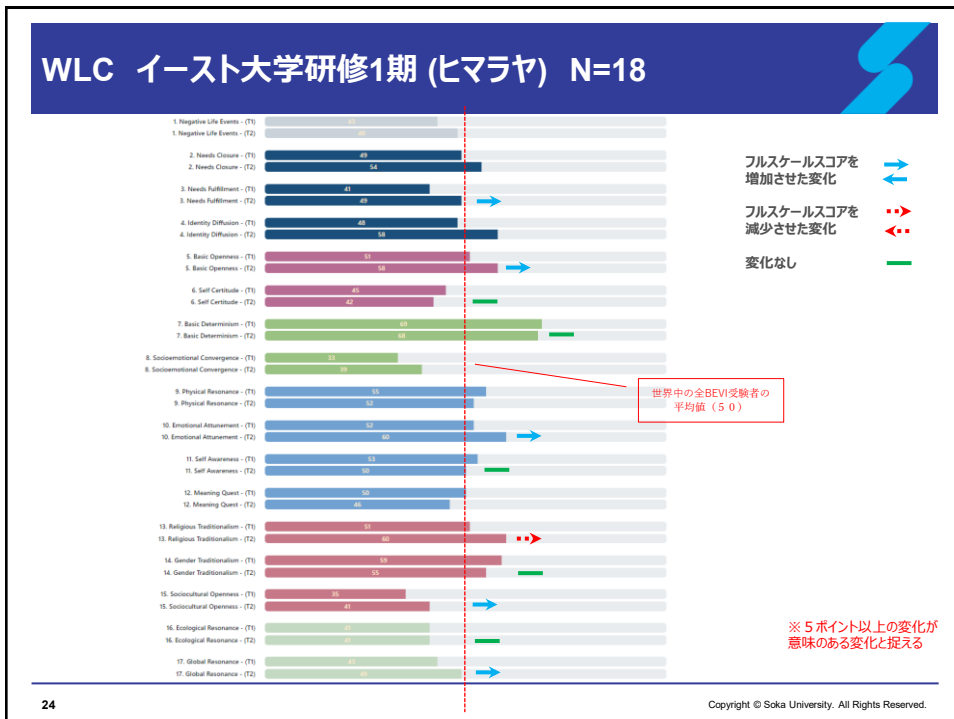
期間: 1期 2024年2月18日～2月29日
2期 2024年3月3日～3月13日
3期 2024年3月17日～3月27日

参加者: 23、34、32名

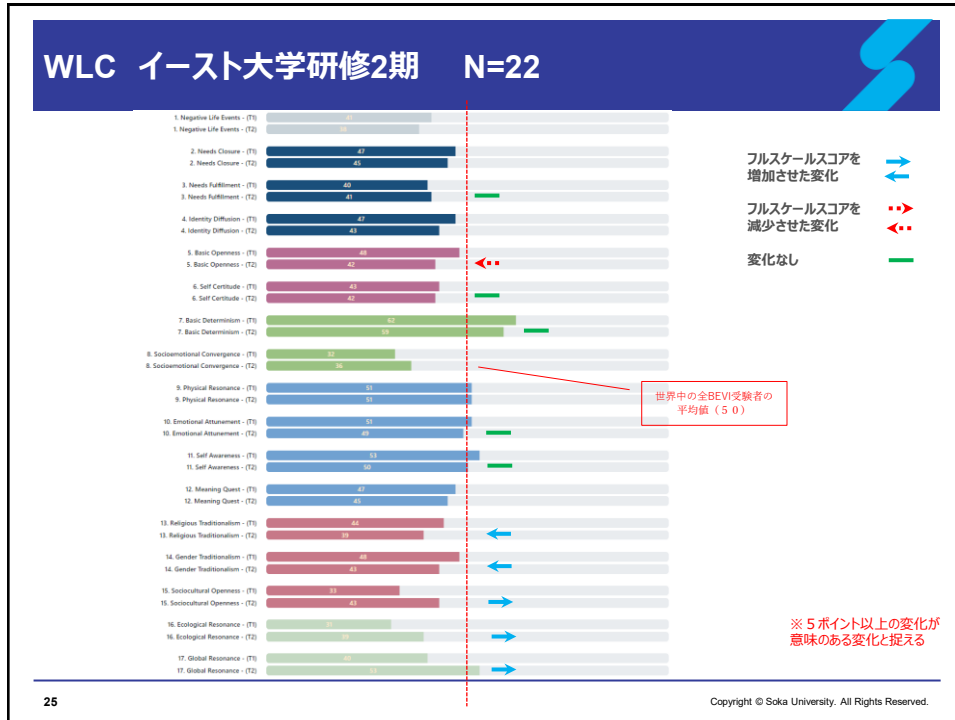
研修目的: 語学研修

研修内容: 事前・事後研修や現地学生との交流等を通して、語学習得を目指す、イースト大学の英語教員と共同でカスタマイズした語学研修。

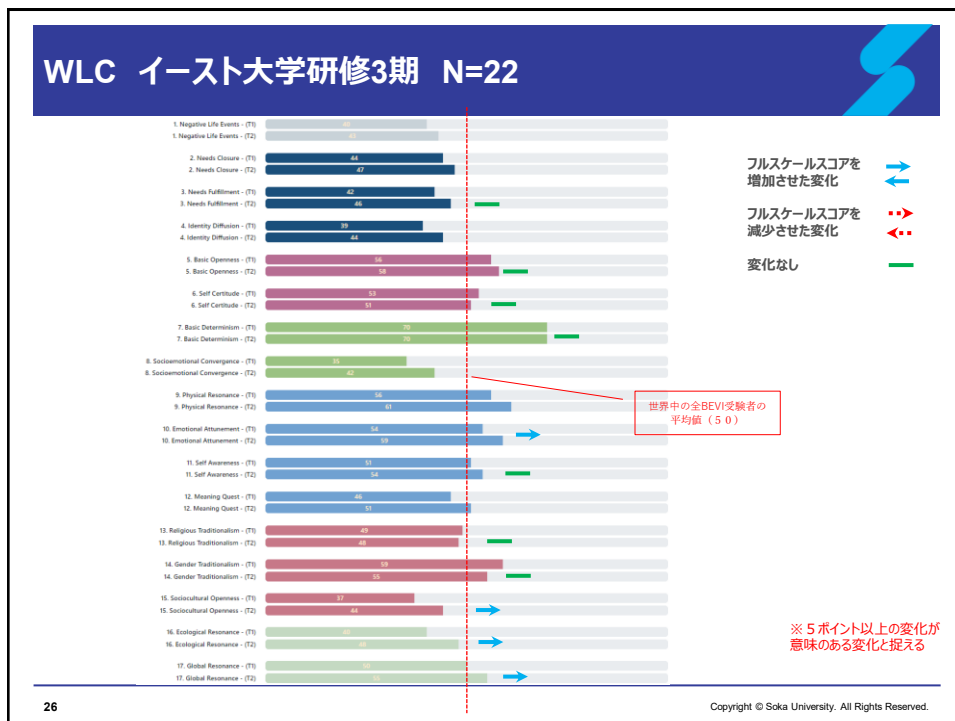
23



24



25

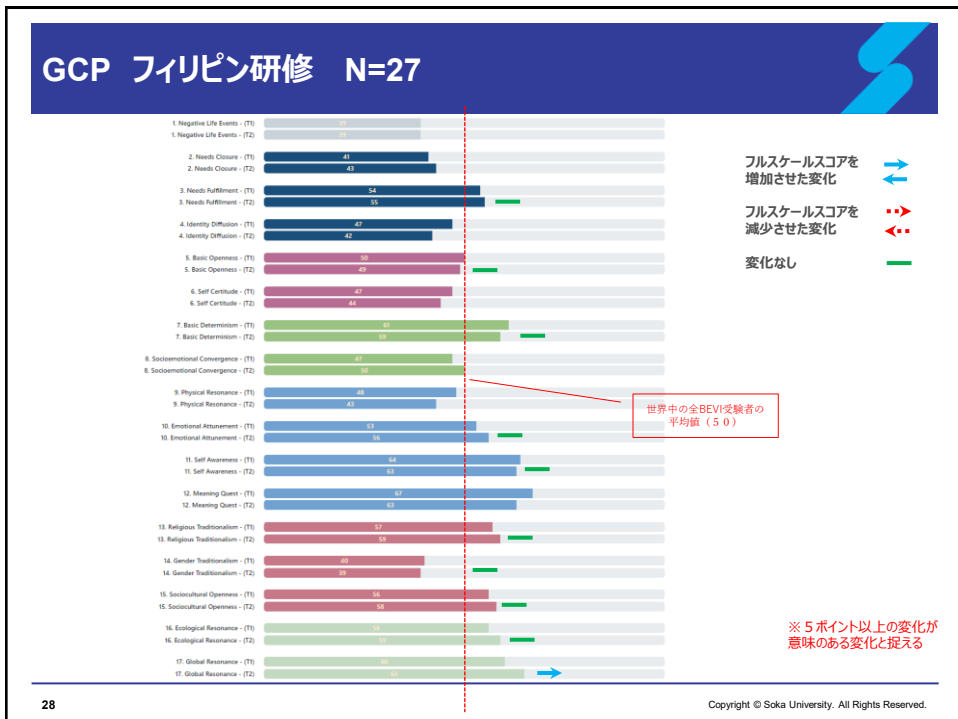


26

【Global Citizenship Program (GCP) フィリピン研修】のBEVIによる分析

期間: 2024年2月18日～2月29日
参加者: 29名
研修目的: フィールドリサーチ等
研修内容: フィリピンの諸事情やグローバル化、開発途上国の問題に関する講義等。事前学習あり。

27

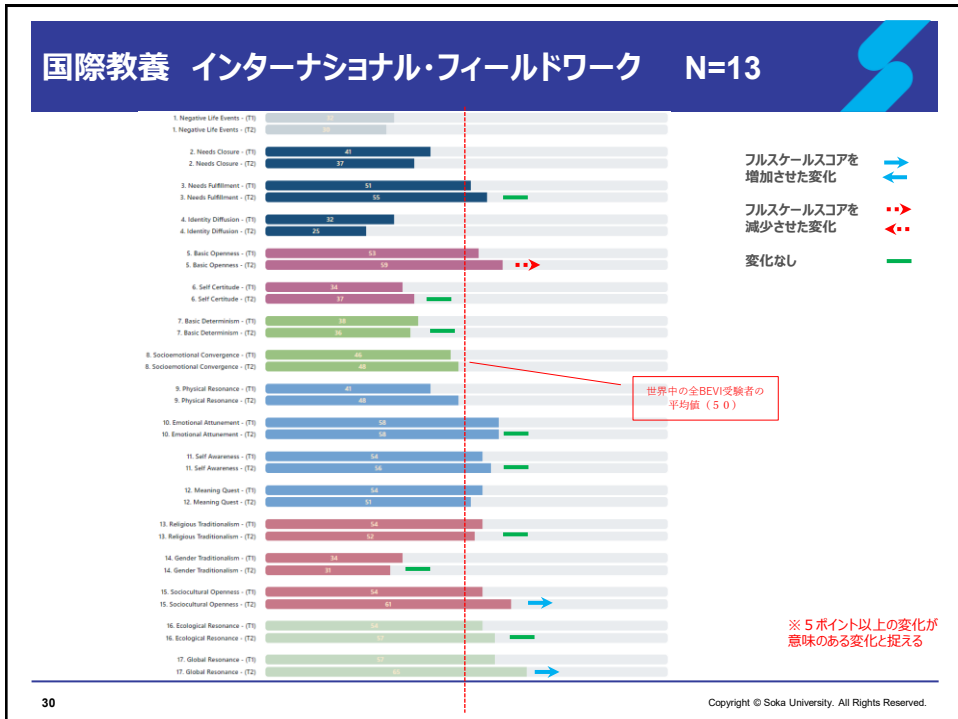


28

【国際教養 インターナショナル・フィールドワーク】 のBEVIによる分析

期間: 2024年2月25日～3月10日
参加者: 16名
研修目的: フィールドワーク
研修内容: 現地の著名な教授陣による講義、マラヤ大学の学生とのディスカッション、企業訪問などを実施。最終日には、現地の教授陣に対し、グループの研究の成果報告を英語で行う。

29



30

参考資料

31

Copyright © Soka University. All Rights Reserved.

31

グループ平均（まとめ）

- 色付けされている尺度が、フルスケールスコアと呼ばれるものであり、BEVIが測定しようとしている、基本的な開放性、異文化への許容性、宗教的また社会的実践、ステレオタイプな思考の許容（またはその否定）、「自己」と感情認識、また他の人々や文化がなぜそのよう¹に行動するのかを説明しようとする思考パターンなどの「**中心的な本質**」の全体スコアをあらわします。
- **緑色**が変化がなかった尺度、**赤色**がフルスケールスコアを減少させた尺度、**青色**がフルスケールスコアを増加させた尺度を表します。
- フルスケールスコア以外の尺度については、すべて一律で黒色になっています。

32

32

グループ平均 国際部主催研修（まとめ-1.1）

研修名	②形成的因子 (Formative Variables)	③中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)	④不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)	⑤批判的思考 (Critical Thinking)
国際部-短期-昌原大学研修	自身の生き立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさは変化がなかった。(尺度5) ・物事を決めつける思考の度合いに変化はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)
国際部-短期-フィリピン大学研修	自身の生き立ちが困難であったとの認識が弱くなった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧しなくなった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する感情をオープンにするようになった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が減少した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが減少した。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識が強くなり、弱者を気遣うなどの配慮ができるようになった。(尺度8)
国際部-短期-ナイロビ大学研修	自身の生き立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が減少した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさは変化がなかった。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考が弱くなった。(尺度7) ・より広い世界への認識が強くなり、弱者を気遣うなどの配慮ができるようになった。(尺度8)

33

グループ平均 国際部主催研修（まとめ-1.2）

研修名	⑥自己の理解・アクセス (Self Access)	⑦他者の理解・アクセス (Other Access)	⑧世界の理解 (Global Access)
国際部-短期-昌原大学研修	・身体的欲求を受入するようになった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容し難くなった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考が強くなった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15)	・環境問題への共感が強くなり、自然界の将来への懸念が増加した。(尺度16) ・グローバル社会への関心に変化はなかった。(尺度17)
国際部-短期-フィリピン大学研修	・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置くようになった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
国際部-短期-ナイロビ大学研修	・身体的欲求を受入するようになった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いが増加した。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加した。(尺度15)	・環境問題への共感が強くなり、自然界の将来への懸念が増加した。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)

34

グループ平均 国際部主催研修（まとめ-2.1）

研修名	②形成的因子 (Formative Variables)	③中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)	④不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)	⑤批判的思考 (Critical Thinking)
国際部-短期-ブル ゴニョ大学研修	自身の生い立ちへの 認識に変化はなかつ た。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を 抑圧するようになった。(尺度 2) ・経験・欲求・感情に対する 感情を抑えるようになった。 (尺度3) ・将来への否定的な感情が増 加した。(尺度4)	・基本的な思考、感 情、欲求をオープン さが減少した。(尺度 5) ・物事を決めつける 思考の度合いに変化 はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの 決定論的思考が弱くなった。 (尺度7) ・より広い世界への認識が 弱くなり、弱者を気遣うな どの配慮が乏しくなった。 (尺度8)
国際部-短期-グアナ ファト大学研修	自身の生い立ちへの 認識に変化はなかつ た。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を 抑圧する度合いに変化はな かった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する オープンさに変化がなかった。 (尺度3) ・将来への否定的な感情に変 化はなかった。(尺度4)	・基本的な思考、感 情、欲求をオープン さは変化がなかった。 (尺度5) ・物事を決めつける 思考の度合いに変化 はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの 決定論的思考が強くなった。 (尺度7) ・より広い世界への認識に 変化はなく、弱者を気遣う などの配慮の度合いに変化 はなかった。(尺度8)
国際部-短期-シエナ 外国人大学研修	自身の生い立ちへの 認識に変化はなかつ た。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を 抑圧する度合いに変化はな かった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する 感情を抑えるようになった。 (尺度3) ・将来への否定的な感情が増 加した。(尺度4)	・基本的な思考、感 情、欲求をオープン さが減少した。(尺度 5) ・物事を決めつける 思考の度合いに変化 はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの 決定論的思考の度合いに変 化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識が 弱くなり、弱者を気遣うな どの配慮が乏しくなった。 (尺度8)

35

グループ平均 国際部主催研修（まとめ-2.2）

研修名	⑥自己の理解・アクセス (Self Access)	⑦他者の理解・アクセス (Other Access)	⑧世界の理解 (Global Access)
国際部-短期-ブル ゴニョ大学研修	・身体的欲求の受入には変化がな かった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは 変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容し難くなっ た。(尺度11) ・意味を模索する度合いが減少し た。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考が弱くなっ た。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には 変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが減少 した。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の 将来への懸念に変化はなかった。 (尺度16) ・グローバル社会への関心が減 少した。(尺度17)
国際部-短期-グアナ ファト大学研修	・身体的欲求の受入には変化がな かった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置かなくなっ た。(尺度10) ・自己の複雑性を許容し難くなっ た。(尺度11) ・意味を模索する度合いが減少し た。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考が強くなっ た。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考が弱 くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加 した。(尺度15)	・環境問題への共感が強くなり、 自然界の将来への懸念が増加し た。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増 加した。(尺度17)
国際部-短期-シエナ 外国人大学研修	・身体的欲求を受入し難くなった。 (尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは 変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化が なかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化は なかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化が なかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には 変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変 化がなかった。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の 将来への懸念に変化はなかった。 (尺度16) ・グローバル社会への関心が減 少した。(尺度17)

36

グループ平均 国際部主催研修（まとめ-3.1）

研修名	②形成的因子 (Formative Variables)	③中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)	④不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)	⑤批判的思考 (Critical Thinking)
国際部-短期-南イリノイ大学研修	自身の生き立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境や生活への欲求を抑制しなくなった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する感情を抑えるようになった。(尺度3) ・将来への否定的な感情に変化はなかった。(尺度4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが減少した。(尺度5) ・物事を決めつける思考が弱くなった。(尺度6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)
国際部-短期-FPT大学研修	自身の生き立ちが困難であったとの認識が強くなった。(尺度1)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境や生活への欲求を抑制するようになった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が減少した。(尺度4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが減少した。(尺度5) ・物事を決めつける思考が弱くなった。(尺度6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)

37

グループ平均 国際部主催研修（まとめ-3.2）

研修名	⑥自己の理解・アクセス (Self Access)	⑦他者の理解・アクセス (Other Access)	⑧世界の理解 (Global Access)
国際部-短期-南イリノイ大学研修	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的欲求を受入するようになった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容し難くなった。(尺度11) ・意味を模索する度合いが減少した。(尺度12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考が弱くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心に変化はなかった。(尺度17)
国際部-短期-FPT大学研修	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置かなくなった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容し難くなった。(尺度11) ・意味を模索する度合いが減少した。(尺度12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考が強くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)

38

グループ平均 国際部主催研修（まとめ-4.1）

研修名	②形成的因子 (Formative Variables)	③中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)	④不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)	⑤批判的思考 (Critical Thinking)
国際部-オーストラリア・インターンシップ	自身の生い立ちが困難であったとの認識が強くなった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧するようになった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさは変化がなかった。(尺度5) ・物事を決めつける思考の度合いに変化はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考が強くなった。(尺度7) ・より広い世界への認識が弱くなり、弱者を気遣うなどの配慮が乏しくなった。(尺度8)
国際部-ロサンゼルス・インターンシップ	自身の生い立ちが困難であったとの認識が強くなった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧するようになった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが減少した。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考が強くなった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)
国際部-ベトナム・インターンシップ	自身の生い立ちが困難であったとの認識が強くなった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧するようになった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する感情を抑えるようになった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが減少した。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識が弱くなり、弱者を気遣うなどの配慮が乏しくなった。(尺度8)
国際部-カンボジア・ボランティア	自身の生い立ちが困難であったとの認識が弱くなった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧しなくなった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情に変化はなかった。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさは変化がなかった。(尺度5) ・物事を決めつける思考の度合いに変化はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考が強くなった。(尺度7) ・より広い世界への認識が強くなり、弱者を気遣うなどの配慮ができるようになった。(尺度8)

39

グループ平均 国際部主催研修（まとめ-4.2）

研修名	⑥自己の理解・アクセス (Self Access)	⑦他者の理解・アクセス (Other Access)	⑧世界の理解 (Global Access)
国際部-オーストラリア・インターンシップ	・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置くようになった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容し難くなった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考が弱くなった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが減少した。(尺度15)	・環境問題への共感が弱くなり、自然界の将来への懸念が減少した。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
国際部-ロサンゼルス・インターンシップ	・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いが減少した。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
国際部-ベトナム・インターンシップ	・身体的欲求を受入し難くなった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置かなくなった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容し難くなった。(尺度11) ・意味を模索する度合いが減少した。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考が弱くなった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考が弱くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15)	・環境問題への共感が弱くなり、自然界の将来への懸念が減少した。(尺度16) ・グローバル社会への関心に変化はなかった。(尺度17)
国際部-カンボジア・ボランティア	・身体的欲求を受入するようになった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考が強くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)

40

グループ平均 WLC主催研修（まとめ-1.1）

研修名	②形成的因子 (Formative Variables)	③中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)	④不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)	⑤批判的思考 (Critical Thinking)
WLC-短期-イースト大学研修1期（ヒマラヤ）	自身の生き立ちが困難であったとの認識が強くなった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧するようになった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する感情をオープンにするようになった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが増加した。(尺度5) ・物事を決めつける思考の度合いに変化はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識が強くなり、弱者を気遣うなどの配慮ができるようになった。(尺度8)
WLC-短期-イースト大学研修2期	自身の生き立ちに変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情に変化はなかった。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが減少した。(尺度5) ・物事を決めつける思考の度合いに変化はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)
WLC-短期-イースト大学研修3期	自身の生き立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさは変化がなかった。(尺度5) ・物事を決めつける思考の度合いに変化はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識が強くなり、弱者を気遣うなどの配慮ができるようになった。(尺度8)

41

グループ平均 WLC主催研修（まとめ-1.2）

研修名	⑥自己の理解・アクセス (Self Access)	⑦他者の理解・アクセス (Other Access)	⑧世界の理解 (Global Access)
WLC-短期-イースト大学研修1期（ヒマラヤ）	・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置くようになった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考が強くなった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加した。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
WLC-短期-イースト大学研修2期	・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考が弱くなった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考が弱くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加した。(尺度15)	・環境問題への共感が強くなり、自然界の将来への懸念が増加した。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
WLC-短期-イースト大学研修3期	・身体的欲求を受入するようになった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置くようになった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いが増加した。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加した。(尺度15)	・環境問題への共感が強くなり、自然界の将来への懸念が増加した。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)

42

グループ平均 各学部主催研修（まとめ-1.1）

研修名	②形成的因子 (Formative Variables)	③中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)	④不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)	⑤批判的思考 (Critical Thinking)
FILA-短期-インターナショナル・フィールドワーク	自身の生い立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が減少した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが増加した。(尺度5) ・物事を決めつける思考の度合いに変化はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)
経営-短期-GPUK (レディング大学)	自身の生い立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧するようになった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する感情をオープンにするようになった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさは変化がなかった。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考が強くなった。(尺度7) ・より広い世界への認識が強くなり、弱者を気遣うなどの配慮ができるようになった。(尺度8)
経済-短期研修-ハワイ大学研修	自身の生い立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する感情を抑えるようになった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさは変化がなかった。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考が弱くなった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)

43

グループ平均 各学部主催研修（まとめ-1.2）

研修名	⑥自己の理解・アクセス (Self Access)	⑦他者の理解・アクセス (Other Access)	⑧世界の理解 (Global Access)
FILA-短期-インターナショナル・フィールドワーク	・身体的欲求を受入するようになった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加した。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
経営-短期-GPUK (レディング大学)	・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容できるようになった。(尺度11) ・意味を模索する度合いが増加した。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考が弱くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
経済-短期研修-ハワイ大学研修	・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が減少した。(尺度17)

44

Copyright © Soka University. All Rights Reserved.

44

グループ平均 各学部主催研修（まとめ-2.1）

研修名	②形成的因子 (Formative Variables)	③中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)	④不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)	⑤批判的思考 (Critical Thinking)
学士課程-短期-GCPフィリピン研修	自身の生い立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境や生活への欲求を抑制する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が減少した。(尺度4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な思考、感情、欲求をオープンさは変化がなかった。(尺度5) ・物事を決めつける思考の度合いに変化はなかった。(尺度6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)
看護-短期研修-国際看護研修(ドイツ)	自身の生い立ちが困難であったとの認識が弱くなった。(尺度1)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境や生活への欲求を抑制しなくなった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が減少した。(尺度4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが減少した。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)

45

グループ平均 各学部主催研修（まとめ-2.2）

研修名	⑥自己の理解・アクセス (Self Access)	⑦他者の理解・アクセス (Other Access)	⑧世界の理解 (Global Access)
学士課程-短期-GCPフィリピン研修	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的欲求を受入し難くなった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさには変化がなかった。(尺度15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
看護-短期研修-国際看護研修(ドイツ)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置かなくなった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教的伝統主義の思考が強くなった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考が弱くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加した。(尺度15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題への共感が強くなり、自然界の将来への懸念が増加した。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)

46

Copyright © Soka University. All Rights Reserved.

46

